



ラックマウント・スライドおよびレール・キットの 取り付け方法

www.tek.com



071-2773-04

Copyright © Tektronix. All rights reserved. 使用許諾ソフトウェア製品は、Tektronix またはその子会社や供給者が所有するもので、米国著作権法および国際条約の規定によって保護されています。

Tektronix 製品は、登録済および出願中の米国その他の国の特許等により保護されています。本書の内容は、既に発行されている他の資料の内容に代わるものです。また、本製品の仕様および価格は、予告なく変更させていただく場合がございますので、予めご了承ください。

TEKTRONIX および TEK は Tektronix, Inc. の登録商標です。

Tektronix 連絡先

Tektronix, Inc.
14150 SW Karl Braun Drive
P.O. Box 500
Beaverton, OR 97077
USA

製品情報、代理店、サービス、およびテクニカル・サポート:

- 北米内: 1-800-833-9200 までお電話ください。
- 世界の他の地域では、www.tektronix.com にアクセスし、お近くの代理店をお探してください。

目次

安全にご使用いただくために.....	iii
キットの説明	1
サポートされる製品仕様	1
キット部品リスト	1
取り付け方法	4
必要なツール	4
スライドの取り付け	5
レールの取り付け	9
機器のラックへの取り付け	10
機器のラックからの取り外し	12

安全にご使用いただくために

人体への損傷を避け、本製品や本製品に接続されている製品の破損を防止するために、安全性に関する次の注意事項をよくお読みください。

安全のために、指示に従って本製品を使用してください。

本製品をご使用の際に、より大きな他のシステムにアクセスしなければならない場合があります。システムの操作に関する警告や注意事項については、他製品のコンポーネントのマニュアルにある安全に関するセクションをお読みください。

機器と人体への損傷を避けるには

ラックマウントの重量定格を守ってください: 仕様に記載されている以上の重量物を搭載しないでください。

適切なハードウェアを使用してください: ラックのスライドやレールを他製品のものと取り換えないでください。負傷の可能性があります。スライドと取り付けネジに指定のレールのみを使用してください。

ラックに機器を取り付けたり、取り外したりする際には十分注意してください: ラックに機器を取り付けたり、取り外したりする際には、片側に1名ずつ、計2名で作業をしてください。取り付けや取り外しの際には、指や手を挟まないように注意してください。取り付けの際には、機器をレールに無理に押し込まないでください。取り外しの際には、機器を静かに引き出してください。

指定された製品にのみご使用ください: ラックマウントを指定外の機器に使用しないでください。詳細については、個別の製品マニュアルを参照してください。疑問がある場合は当社サービス・センターにお問合わせください。

キットの説明

ラックマウント・キットは、特定の製品を標準の 19 インチ機器ラックに取り付けるための部品キットです。このマニュアルでは、ラックマウント・キットを各種製品に取り付ける方法について説明します。

サポートされる製品仕様

これらのキットに含まれるレールとスライドは、重量 11.34 Kg (25 lbs) を超えない当社製品に使用するものです。

キット部品リスト

このキットに含まれる部品を次のいくつかの表に示します。各部品の形状については各図を参照してください。キットにはご注文の内容により、スライド部品のみ、レール部品のみ、またはそれら両方が含まれます。機器がラックマウント・キットと同時に出荷される場合、スライドが機器に取り付け済みの場合があります。

注： ネジ、バー・ナット、レバー、ブッシングの交換用キットは、当社にご注文いただけます。部品番号は 016-2031-xx です。

表 1: スライド・アセンブリの部品リスト(図 1 参照)。

図番	数量	名称と説明
1-1	2	BRACKET, RACK, CHASSIS-SIDE (ブラケット、ラック、シャーシ側)
1-2	2	BRACKET, RACK, LEVER, CHASSIS-SIDE (ブラケット、ラック、レバー、シャーシ側)
	2	BUSHING, RACK, CHASSIS-SIDE (ブッシング、ラック、シャーシ側)
1-3 ¹	2	SCREW, MACHINE; 8-32 X 0.5, FLH, 100 DEG, STL, ZN PL, PHIL (小ネジ、8-32 X 0.5, FLH, 100 DEG, STL, ZN PL、プラス(インチ・ネジ))
	6	SCREW, MACHINE; 8-32 X 0.375, PNH, STL, ZN PL, PHIL (小ネジ、8-32 X 0.375, PNH, STL, ZN PL、プラス(インチ・ネジ))

表 1: スライド・アセンブリの部品リスト(図 1 参照)。(続き)

図番	数量	名称と説明
1-4 ¹	2	SCREW, MACHINE; M4X10MM L, FLH, STL, ZN PL, PHIL (小ネジ、M4X10MM L、FLH、STL、ZN PL、プラス (メートル・ネジ))
	6	SCREW, MACHINE; M4 X 8MM L,PNH, STL, ZN PL, PHIL (小ネジ、M4X8MM L、PNH、STL、ZN PL、プラス (メートル・ネジ))

¹ スライドを取り付ける際は、メートル・ネジが必要な機器とインチ・ネジが必要な機器とがあります。5 ページの表 3 を参照して、ご使用の機器に適した種類のネジを確認してください。

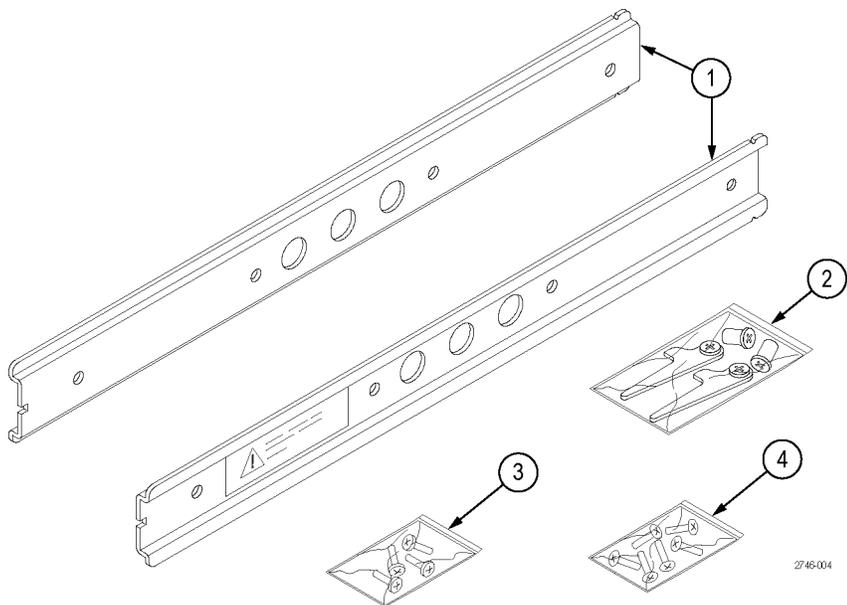


図 1: スライド・アセンブリの部品

表 2: レール・アセンブリの部品リスト(図 2 参照)。

図番	数量	名称と説明
2-1	2	BRACKET, RACK, STATIONARY (ブラケット、ラック、固定側)
2-2	2	BRACKET, RACK, REAR CABINET (ブラケット、ラック、リア・キャビネット)
2-3	2	BRACKET, RACK, BAR NUT (ブラケット、ラック、バー・ナット)
	8	SCREW, MACHINE; 10-32 X 0.625,TRH, ZINC PLATED STEEL, PHIL (小ネジ、10-32 X 0.625、TRH、亜鉛めっき鉄、ZN PL、プラス)
	4	NUT ASSY; 10-32 X 0.375 HEX, ZINC PLATED STEEL, LOCK WASHER (ナット・アセンブリ、10-32 X 0.375 六角、亜鉛めっき鉄、ロック座金)

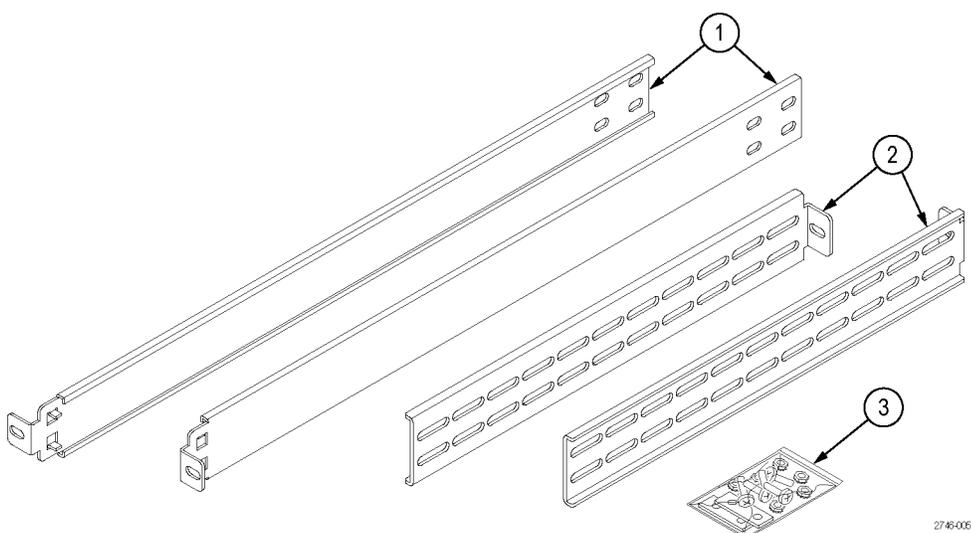


図 2: レール・アセンブリの部品

取り付け方法

このセクションでは以下について説明します。

- 製品へのスライドの取り付け(未装着の場合)
- レールの標準 19 インチ機器ラックへの取り付け
- ラック内のレールへの機器の取り付け



警告: けがを避け、機器の損傷を避けるために、他のキットに含まれていたスライド(たとえば、General Devices 社の Chassis Track C-300)を、本キットのレールと組み合わせて使用しないでください。製品を引き出した時にロック機構が働かず、製品がラックから落下することがあります。

他のラックマウント・キットの部品を一緒にしないでください。部品を混ぜると、機器の安全が確保できず、ラックから外れて落下してけがをしたり、機器を破損したりすることがあります。

必要なツール

キットの金物類の取り付けには次のツールが必要です。

- No. 2 プラス・ドライバ
- 3/8 インチ・レンチ



警告: ラックに搭載した機器がユーザ側に倒れるのを避けるため、リア・パネルのコネクタにアクセスする際にユーザが機器を押し下げることのないように機器を取り付けてください。機器を最後まで引き出しても、ラックが不安定にならないことを確かめてください。リア・パネルへのアクセス終了後は、機器を引き出したまま放置しないでください。

スライドの取り付け

ネジの選択

このキットでは、スライドを取り付けるためのメートル・ネジとインチ・ネジが提供されています。スライドを取り付ける際には、メートル・ネジが必要な機器とインチ・ネジが必要な機器とがあるため、両方の種類のネジが提供されています。さらに、スライドを取り付けるネジが 4 本必要な機器と 3 本必要な機器とがあります。

次の表を参照して、ご使用の機器に使用するネジの種類を確認してください。

表 3: ラック・スライド:各機器に必要なネジの種類と数

機器の型名	ネジの種類	ネジの数
ECO80x0 型 SPG600 型 TG700 型 TG8000 型	メートル・ネジ	4
SPG700 型 SPG8000 型 SPG8000A 型	メートル・ネジ	3
ECO422D 型 WVRxxxx 型	インチ・ネジ	4
IPM400A 型 MTM400A 型 QAM400A 型 RFM300 型	インチ・ネジ	3

手順 以下の手順に従って、スライドを機器に取り付けます。

注: スライドは最初から機器に取り付けられている場合があります。その場合は、この手順を省いて、レールの取り付けに進んでください。(9 ページ参照)。

1. 左右のスライドの後ろ側を確認します。各スライドの外側に注意書きがあります。(図 3 参照)。(図 4 参照)。
2. スライドの後端が機器の後端に一致するようにします。スライドの前端中央には切り欠きがあります。
3. 右側スライドの取り付け穴を、機器の右側の取り付け穴に合わせます。
4. No. 2 プラス・ドライバを使用し、次のようにして右スライドを機器の右側に取り付けます。



注意: ご使用に機器に合った、正しい種類のネジ(メートルまたはインチ)が選択されていることを確認してください(表 3 参照)。ネジを簡単に差し込めない場合には、ねじ山が破損する恐れがありますので、無理な力を加えないでください。このような場合には、間違った種類のネジが使用されている可能性があります。

メートル・ネジとインチ・ネジのどちらを使用するかは機器によって異なりますが、ここで使用するネジは短い方のネジ(8 mm または 0.375 インチ)です。

- a. ECO422D 型、ECO80x0 型、SPG600 型、TG700 型、TG8000 型、および WVRxxxx 型の場合: 機器に応じて(表 3 参照)、メートル・ネジまたはインチ・ネジを最初の 3 つの穴に取り付けます。
- b. IPM400A 型、MTM400A 型、QAM400A 型、RFM300 型、SPG700 型、SPG8000 型、および SPG8000A 型の場合: 機器に応じて(表 3 参照)、メートル・ネジまたはインチ・ネジを最初の 2 つの穴に取り付けます。
- c. レバーの長い方のハンドルをスライドの手前に、短いフックを下に向けて、レバーを残りの取り付け穴に合わせます(図 3 参照)。(図 4 参照)。
- d. 機器に応じて、メートル・ネジまたはインチ・ネジをレバーのブッシングに取り付けます。
- e. ブッシングとネジをレバーに差し込み、レバーをスライドに取り付け、スライドを機器にしっかりと取り付けます。

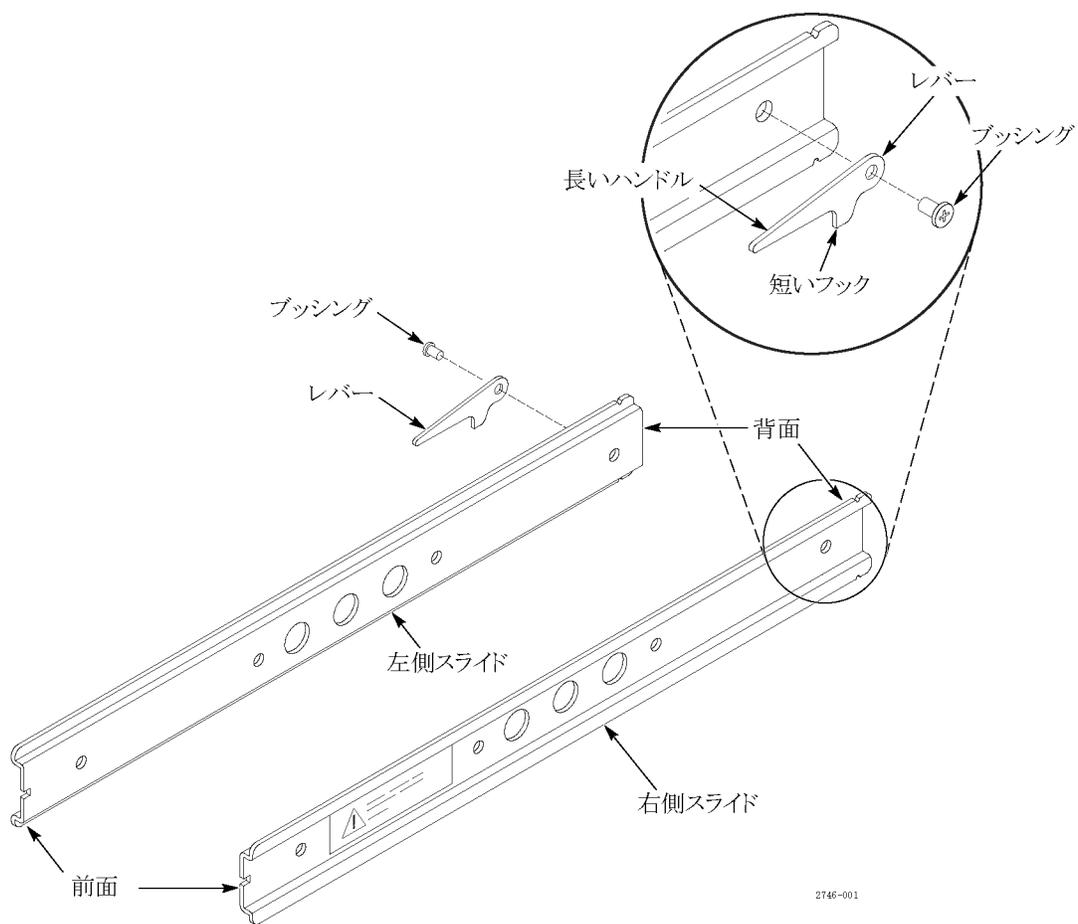


図 3: スライド・レバーの取り付け (SPG700 型、SPG8000 型、および SPG8000A 型以外の機器)

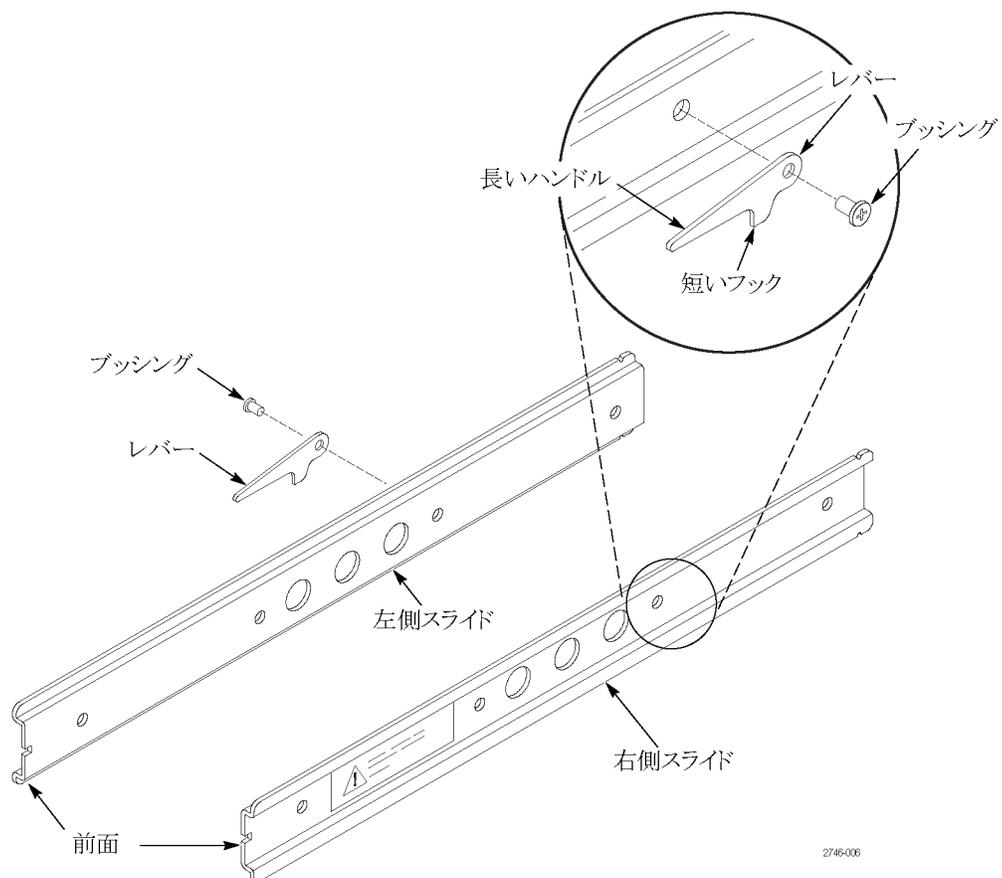


図 4: スライド・レバーの取り付け (SPG700 型、SPG8000 型、および SPG8000A 型の場合)

5. 機器を回し、機器の左側に向かって同じ手順を繰り返して、左側のスライドを取り付けます。



警告: けがをしないよう、また機器の破損を避けるために、レバーが適切に取り付けられていることを確認してください。レバーの取り付けが不適切な場合、スライドをロックできなかつたり、機器がラックから外れるのを防げない場合があります。レバーの長い方のハンドルがスライドの手前に、短いフックが下向きになっていることを確認してください。

レールの取り付け

ここでは、レールの組み立て方法と機器ラックへの取り付け方法について説明します。

レールの組み立て

1. 機器ラックの前後のレールの間の距離を測ります。
2. リア・ブラケットを右側レールに合わせます。リア・ブラケットには、貫通穴が2列に並んでいることを確認してください。ブラケットとレールを合わせる際に、フランジ間の距離がラックマウント・ラックの前後のレール間の、先ほど測った距離と一致するように、リア・ブラケットを取り付ける一対の穴を選んでください。(図 5 参照)。
3. 2本の 10-32 ネジとバー・ナットを使用して、No. 2 プラス・ドライバーでリア・ブラケットを右側レールに取り付けます。レール・アセンブリの全長をラックに合わせられるように、ネジは固く締めずに緩めたままにしてください。
4. 同じ手順で左側のレールを組み立てます。

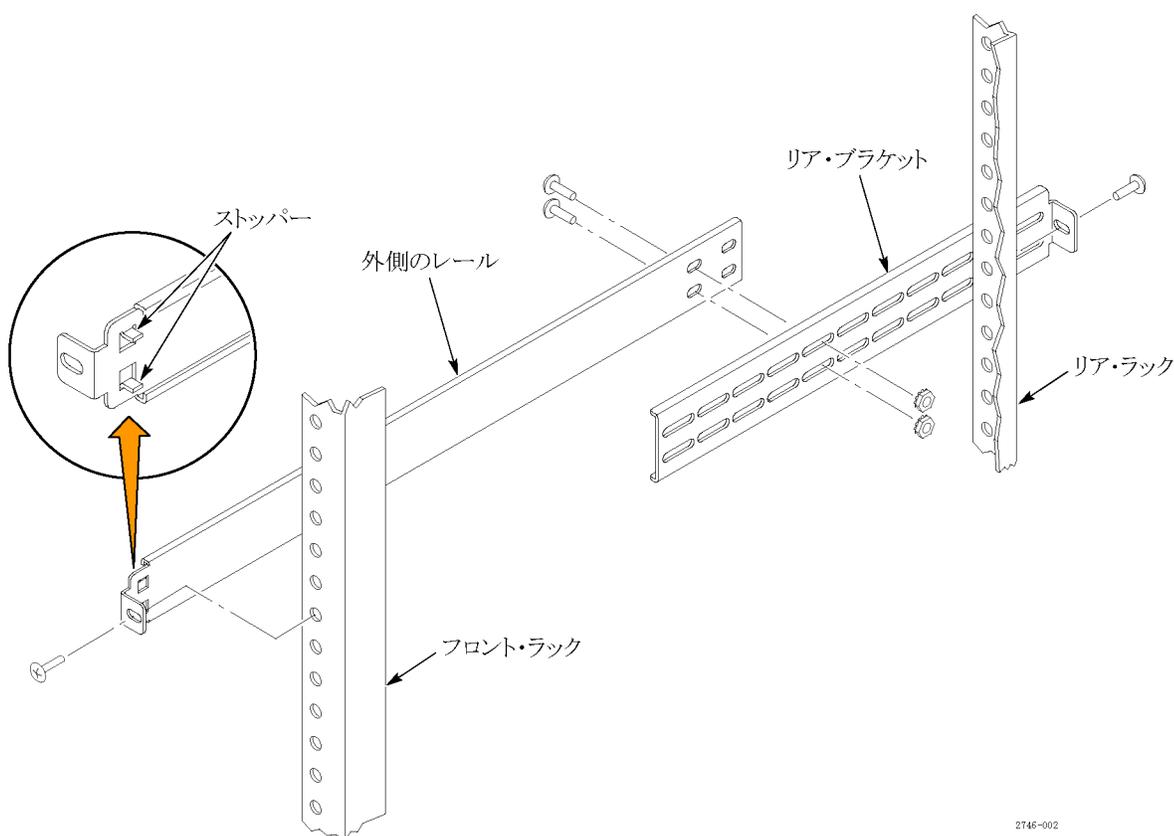


図 5: レールの組み立てと取り付け

レールの取り付け

1. ラック前面の 1/2 インチ間隔の取り付け穴を選択します。
2. ラックのタイプに応じて、次の方法のいずれかを選びます。
 - レールの前後のフランジを前後のラックの外側にしてレールを取り付け、レールの穴にネジが切られていない場合はバー・ナットを使用する。
 - レールの前後のフランジを前後のラックの内側にしてレールを取り付け、バー・ナットを使用する。この取り付け方法は穴にネジが切られていない場合を想定しています。
3. 手順 2 で選択した方法と金具を使用して、右側のレール・アセンブリを機器ラックの前後のレールに取り付けます。ネジは最後まで差し込みますが、後でラックと調整できるように緩めに締めます。
4. レールを組み立てた際に緩いままにしたネジを 28 インチ・ポンドのトルクで締め、レール・アセンブリの前後のフランジ間隔を固定します。
5. 同じ手順で左側のレール・アセンブリを組み立てます。

機器のラックへの取り付け

ここでは、測定器を機器ラックに取り付ける手順について説明します。



警告： 製品を取り付ける際に、手や指をレールやスライドに挟んでけがをしないように注意してください。

1. 両側のレバーの長い方のハンドル部分を上に持ち上げながら、機器の左右のスライドをラックのレールの端に差し込みます。(図 6 参照)。

注： 機器のスライドは、内側ラック・レールの内側に差し込んでください。スライドをレールに合わせるために、機器の後部を上下に少し傾けなければならない場合があります。

2. ラックに止まるまで機器を押し込みます。



注意： 機器とラックマウントを破損しないように、機器がスムーズにすべらない場合には、無理にラックに押し込まないようにしてください。この場合、レール・アセンブリを調整すると問題が解決する場合があります。

3. 緩いネジがあればそれを締め、機器をラックの最後まで押し込みます。スライドがスムーズに動かない場合は、レール・アセンブリを再度調整します。
4. 調整が終わったら、レール・アセンブリのすべての 10-32 ネジを 28 インチ・ポンドのトルクで締めつけます。

5. 機器の前面コーナーにノブ・スクリューがある場合には、スクリューを締め
てラックに固定してください。
6. 機器をラックから外す場合にはノブ・スクリューを緩めます。

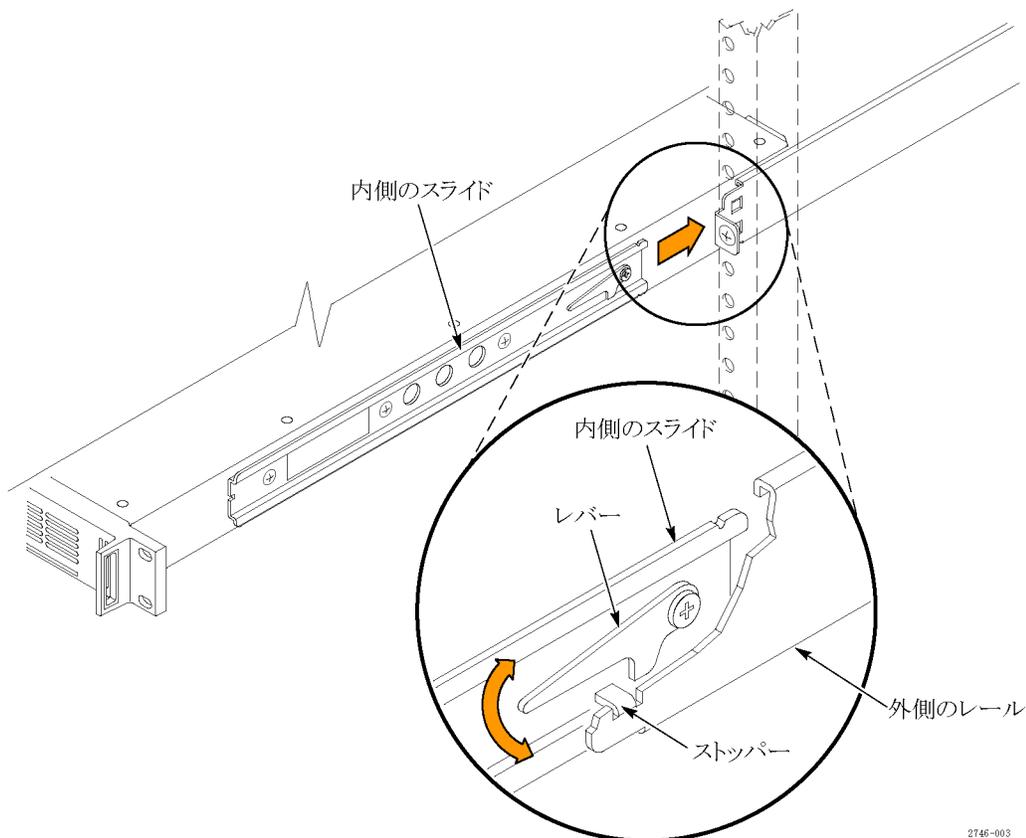


図 6: ラックへの機器の取り付けと取り外し

機器のラックからの取り外し

ここでは、測定器を機器ラックから取り外す手順について説明します。



警告：製品をラックから取り外す際にけがをしないために、無理な力を加えて製品をラックから引き出さないようにしてください。必要最小限の力で、均等で一定の動きで機器を引き出します。

1. 機器の前面をラックに固定するノブ・スクリューがある場合はそれを緩めます。
2. 機器の後部にあるレバーに手が届くまで、機器を静かに手前に引き出します。
3. レバーがストッパーを通過できるように、両側のレバー・ハンドルを同時に持ち上げます。(図 6 参照)。
4. ストッパーを通過してラックから外せるまで機器を引き出します。